

「黒部で第九を歌う会合唱団」「根室市民合唱団」

# 交流記念コンサート

黒部市・根室市姉妹都市提携40周年事業



[主催] 姉妹都市提携40周年交流記念事業コンサート実行委員会  
[共催] 根室市、根室市教育委員会、根室市音楽協会  
[後援] 根室新聞社、北海道新聞社根室支局、釧路新聞社根室支社、(株)ねむろ市民ラジオ

姉妹都市提携40周年交流記念事業コンサート実行委員会事務局（根室市総合文化会館内）  
根室市曙町1丁目40番地 TEL 0153-24-3188

平成28年8月28日(日) 根室市総合文化会館 大ホール

開場 13:30 開演 14:00

# プログラム

## ◆第1部◆

合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」より『越中おわら』（作詞・作曲：岩河 三郎）

指揮 内山 太一  
ピアノ 間部 栄司  
合唱 黒部で第九を歌う会合唱団

千島望郷（作詞：武田 文春 作曲：飯田 三郎）

指揮 谷内田 きよ子  
ピアノ 市川 眞智子  
合唱 根室ほほえみコーラス、根室混声合唱団クール・エコー、根室男声合唱団トルバドール、根室コール・スワン、北国讃歌を歌う会

銀河鉄道の夜（作詞・作曲：さだまさし 合唱編曲：田中 達也）

指揮 谷内田 きよ子  
ピアノ 市川 眞智子  
合唱 根室ほほえみコーラス、根室混声合唱団クール・エコー、根室男声合唱団トルバドール、根室コール・スワン、北国讃歌を歌う会

## ◆第2部◆

交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付き」より 第4楽章（作曲：ベートーヴェン）

指揮 須貝 雄太郎  
ソリスト 南出 薫(ソプラノ)、斉藤 みゆき(アルト)、小笠原 一規(テノール)、内山 太一(バリトン)  
合唱 黒部で第九を歌う会合唱団、根室市民合唱団  
管弦楽 釧路交響楽団

## ◆第3部◆

交響組曲「北国讃歌」（作詞：田塚 源太郎、飯田 三郎 作曲：飯田 三郎）

指揮 池本 昇  
ソリスト 小笠原 一規(テノール)  
合唱 黒部で第九を歌う会合唱団、根室ほほえみコーラス、根室混声合唱団クール・エコー、根室男声合唱団トルバドール、根室コール・スワン、北国讃歌を歌う会  
管弦楽 根室市民吹奏楽団、ストリングス（根室市民交響楽団）

# ごあいさつ



姉妹都市提携40周年交流記念事業コンサート

実行委員会委員長 丸山 一之

ベートーヴェンが人類に残してくれた宝「歓喜の歌」。交響曲第9番。今日この根室の地で第九を聴けることに大きな喜びを感じております。

昨年4月、黒部市におきまして、「根室の第九」ともいえる飯田三郎先生の「北国讃歌」を、根室市の訪問団と黒部市の皆様との共演により演奏させて頂きました。その際、「黒部で第九を歌う会」の皆様を中心とした大合唱団による「交響曲第9番」を聴かせて頂きました。文字通り「歓喜」にあふれんばかりの素晴らしい演奏は、今でも私たちの脳裏に焼き付いて離れません。

本日、姉妹都市提携40周年交流記念コンサートに、黒部市の訪問団の皆様をお迎えし、「北国讃歌」と「交響曲第9番」を再度共演出来ること、そしてなにより根室市民の方々に、音楽を通じ深い感動をお届けできることを大変嬉しく感じております。

本日のコンサートに出演いただきますソリストの皆様、釧路交響楽団の皆様、そしてコンサートの企画運営に心血を注いで頂きましたスタッフの皆様にご心よりお礼申し上げます。

本日のコンサートに出演いただきますソリストの皆様、釧路交響楽団の皆様、そしてコンサートの企画運営に心血を注いで頂きましたスタッフの皆様にご心よりお礼申し上げます。

# お祝いのことば



根室市長

長谷川 俊 輔

黒部市と根室市との姉妹都市提携40周年を記念した交流記念コンサートが根室市で盛大に開催されますことに対しまして心からお慶びを申し上げます。

また、堀内市長をはじめ黒部市民の皆さまには、姉妹都市事業の推進や北方領土返還運動に対しまして、格別のご尽力ご高配をいただいておりますこと、心から敬意と感謝を申し上げます。

黒部市と根室市との結びつきは、明治初期に多くの黒部の先人が北洋漁業を開拓し、北方領土や根室に漁業基地を築いたことに始まり、その後、北方領土の早期返還を共通の悲願として、昭和51年10月に姉妹都市提携が結ばれて以来、教育・文化・スポーツ・産業など様々な分野において交流が行なわれ、今日に至っております。

この度の記念コンサートは、昨年4月、黒部市で行われた北陸新幹線開業記念黒部・根室姉妹都市交流事業「第12回名水の里第九コンサート」に、根室市民の合唱団が出演させていただきましたことがご縁となり、今回、姉妹都市提携40周年を期に、黒部で第九を歌う会合唱団を根室にお招きし、開催する運びとなりました。

両市の合唱団がひとつとなって、ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章や、「根室の第九」として親しまれる交響組曲「北国讃歌」を合唱することが、これまで育み続けた両市の友好を一層強いものとするを、固く信じます。

今後とも、両市の更なる交流に向け、皆さまの変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、これからの両市の限らない発展と皆さまの益々のご健勝を心からご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



黒部市長

堀内 康 男

根室市・黒部市姉妹都市提携40周年交流記念事業として、「根室市民合唱団」と「黒部で第九を歌う会合唱団」の交流記念コンサートが、根室市において盛大に開催されますことに対し、黒部市民を代表して心からお祝い申し上げます。

また、平素より根室市の長谷川市長をはじめ根室市民の皆さまには、姉妹都市事業の推進に深いご理解とご協力を賜りますとともに北方領土返還要求運動を力強く推進しておられますことに対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

根室市と黒部市は、明治の初期より北洋漁業の開拓を通じて友愛の歴史を重ねてきました。黒部市の多くの方が根室市を永住の地とし、黒部市にも根室市出身者が多く存在しています。昭和51年に姉妹都市提携を結び、これまでスポーツや文化の分野においても市民交流を深めてまいりました。

今回の記念コンサートは、昨年4月に、北陸新幹線開業記念及び姉妹都市交流事業として開催した「第12回名水の里第九コンサート」において、根室市民のオーケストラ・合唱団の皆さまにご出演いただきましたことがご縁となったものであります。姉妹都市提携40周年という記念すべき年に、記念コンサートとして共に出演できますことは、黒部市民にとりまして大変名誉なことであり、根室市民、関係者の皆さまに御礼を申し上げます。

このたび出演させていただく黒部で第九を歌う会合唱団は、市民合唱団として平成4年に設立し、翌年の第1回コンサートを機にこれまで12回のコンサートを開催しております。今回、初めて根室市にて、ベートーヴェンの交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」のうち第4楽章を披露することとなりました。根室市の四季を表現された貴重な音楽であり、「根室の第九」とも称される交響組曲「北国讃歌」とともに披露できますことは、大きな喜びであり、友好の絆がさらに深まり、芸術文化活動がますます発展するよう期待しております。

結びに、今後とも根室市と黒部市の交流をさらに深め、両市の発展のため、変わらぬご支援・ご指導をお願い申し上げますとともに、長年ご支援、ご協力を賜っております関係各位の一層のご発展と、皆さまのご健勝ご多幸を心から祈念し、お祝いのことばといたします。



ソプラノ

## 南出 薫

昭和音楽大学短期大学部声楽科卒業。声楽を谷内田きよ子、(故)砂原美智子、常森寿子の各氏に師事。札幌市民芸術祭新人音楽会、札幌市民ロビーコンサート、「蝶々夫人」タイトルロールをはじめ多くのオペラや演奏会に出演。合唱曲ではベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」のソリストとして出演。

1995年国際芸術連盟新人オーディションに於いて奨励賞受賞。2000年宮日音楽コンクール声楽部門第1位、最優秀グランプリを獲得し、ミラノにて研修。マルゲリータ・グリエールミ女史に師事する。

2003年オペラ団体「LCアルモニーカ」を立ち上げ、毎年、グランドオペラ公演をしている。北海道初演のオペラなど積極的に公演し、新聞、音楽誌で好評を博す。2007年に公演した「カヴァレリア・ルスティカーナ」「道化師」では札幌市民芸術祭奨励賞、2013年に公演したオペラ「ドン・カルロ」では道銀芸術文化奨励賞を受賞。

生涯学習センター「ちえりあ」の市民カレッジ講師を務め、2004年オペラ講座から発足したコーラスグループ「コール・プリランテ」指揮者、札幌音楽家協議会、国際芸術連盟各会員。故郷、根室市の「ねむる味覚観光大使」も務める。



アルト

## 斉藤 みゆき

東京藝術大学声楽科卒業。日演連推薦新人演奏会出演。第5回日本クラシック音楽コンクール北日本地区本選奨励賞。「カルメン」タイトルロール、「ヘンゼルとグレーテル」魔女、「蝶々夫人」スズキ、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァ、「修道女アンジェリカ」修道院長・公爵夫人、「ドン・カルロ」エボリ、「運命の力」プレツィオジッラなどオペラでは常に高い評価を受けている他、「ヨハネ受難曲」「メサイア」「レクイエム」など宗教曲のアルトソロや、ドイツリートにおいても定評がある。

札幌市民ロビーコンサート、いしかりの里コンサート、カントール演奏会、時計台コンサートなど多数の演奏会に出演。2007年、南出 薫とデュオ・リサイタルを開催。近年は病院などにおけるボランティアコンサートにも力を入れている。(故)宮本雄次、雨貝尚子、(故)戸田敏子の各氏に師事。ユリア・ハマリ、クリスタ・ルードヴィヒ各氏のレッスンを受ける。

現在、LCアルモニーカ副代表、札幌音楽家協議会会員、札幌工業高等学校講師。石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団ヴォイストレーナー。東京国際芸術協会全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員。



テノール

## 小笠原 一規

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。その後イタリアミラノ音楽学校、マルツィアーリ音楽学校にて研鑽を積む。声楽を松崎千枝子、郡司忠良、中島基晴、E.マイエロン、V.テッラノーヴァ、A.クピード、黒田安紀子の諸氏に師事。第51回瀧 廉太郎記念音楽祭主催全日本高等学校声楽コンクール優秀賞受賞、第52回日伊声楽コンクールソ入選、第57回全日本学生声楽コンクール声楽一般の部奨励賞受賞、2005年ミラノ音楽学校国際声楽コンクール入選、第45回イタリア声楽コンクール第1位受賞(シエナ大賞)パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)2010年に於いてはPMFシンガーズとして合格、現メトロポリタン歌劇場首席指揮者のファビオ・ルイーヅ指揮の《ラ・ボエーム》で主演ロドルフォ役を演じ高評を得る。その他《コジ・ファン・トゥッテ》フェランド役、《ドン・ジョヴァンニ》ドン・オッターヴィオ役、《ウィンザーの陽気な女房達》フェントン役、《椿姫》アルフレード役、《トゥーランドット》カラフ役、《蝶々夫人》ピンカートン役、《ジャンニ・スキッキ》リヌッチョ役、《カルメン》ドン・ホセ役、レメンダード役、《愛の妙薬》ネモリーノ役、《こうもり》アイゼンシュタイン役、《サムソンとデリラ》伝令役などを演じている。

コンサートに於いても、カルミナ・ブラーナ、第九、交響詩《十勝》、北国讃歌、自身のリサイタルを始めその他ミサ曲などのソリストとして数多くのコンサートに出演している。

北海道若手新人音楽家育成プロジェクト代表、NPO法人日本音楽生涯学習振興協会演奏研究員、藤原歌劇団準団員、兵庫県在住。



バリトン・「越中おわら」指揮者

## 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学声楽科卒業。シューベルトの三大歌曲集などドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラやメサイヤ、ベートーヴェン第九など数多くのコンサートに出演。1993年再度一年間ドイツに留学。

黒部で第九を歌う会・合唱団「おおよま」・入善混声合唱団・男声合唱団「ジョイフルフレンズ」

・小矢部第九を歌う会・大地の会声合唱団・大地の会うたごえサークル・北アルプス混声合唱団など指導。声楽研究グループ「大地の会」主宰。元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師、富山県オペラ協会理事。



「千島望郷」・「銀河鉄道の夜」指揮者・合唱指導者

## 谷内田 きよ子

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同専攻科終了。

村井満寿、リア・フォオン・ヘサートの各氏に師事。砂原美智子氏、常森寿子氏の指導を受ける。

「ほほえみコーラス」、「コール・スワン」、根室別院コーラス「迦陵頻伽の会」の指導にあたる。

根室市文化奨励賞受賞。国際ソロブチミスト根室婦人栄誉賞受賞。

今回の交流記念コンサートの「第九」と「北国讃歌」の合唱指導も務める。



「越中おわら」ピアノ

## 間部 栄司

5歳よりピアノを始める。富山県立呉羽高等学校普通科音楽コース卒業。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ハンガリー国立リスト音楽院留学。第21回富山県新人演奏会にて最高位の北日本新聞音楽奨励賞と富山県知事賞を併せて受賞。大阪国際音楽コンクール2010入賞。ピアノを故・平野信子、平野春夫、山崎道子、重松 聡、グヤーシュ・イシュトヴァーンの各氏に、日本歌曲伴奏法を塚田佳男氏に師事。

現在、演奏活動を行う傍ら、富山県立呉羽高等学校非常勤講師、間部ピアノ教室を主宰。また、校歌や園歌などの作曲も行っている。



「千島望郷」・「銀河鉄道の夜」ピアノ

## 市川 眞智子

中央音楽学園卒業。

ピアノを三浦隆治、山本良子他の各氏に師事。電子オルガンを四ッ柳美枝子他の各氏に師事。

「ほほえみコーラス」、「コール・スワン」、根室別院コーラス「迦陵頻伽の会」の伴奏にあたる。

音楽教室主宰。全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)指導者会員。



「第九」指揮者

## 須貝 雄太郎

小樽市出身。北海道教育大学教育学部函館校卒業。音楽学専攻。在学中、トランペットを山下晴生氏に師事。また、(故)松代晃明氏の下で同大学吹奏楽団学生指揮者として研鑽を積んだ。

平成14年に留萌管内の天塩町立天塩中学校に音楽科教諭として赴任。同校吹奏楽部を指導する傍ら一般吹奏楽団アンサンブル・フレンズ・ノ・メールの音楽監督も務めた。平成22年に北海道根室西高等学校に赴任。根室市民吹奏楽団及び釧路交響楽団にトランペット奏者として入団。平成27年

11月、釧路交響楽団第38回定期演奏会にて、ドヴォルザークの交響曲第7番を指揮した。平成28年より北海道根室高等学校に勤務。根室市民吹奏楽団指揮者。



「北国讃歌」指揮者

## 池本 昇

昭和37年根室市生まれ、根室西高等学校入学と同時に吹奏楽部にて活動始める(トロンボーン奏者)。昭和57年に根室市民吹奏楽団に入団、トロンボーン及びホルン奏者として在籍。在籍中に当時の市民吹奏楽団指揮者、野宮敏明氏に師事し指揮法を学び、平成2年より市民吹奏楽団の指揮を執る。(現在は奏者として在籍)。また、現在のストリングス(弦楽合奏団)の立ち上げにピオラとして参加し、現在は指揮者として活動。

北国讃歌は平成3年の根室市文化祭音楽大会で初めて指揮を執り、以後同音楽大会での、北国讃歌の指揮を務めている。また、平成5年の根室市総合文化会館のこけら落とし、平成19年の根室市市制施行50周年記念式典、平成27年の黒部市での北陸新幹線開業記念黒部・根室姉妹都市交流事業第12回名水の里第九コンサートでの北国讃歌の指揮を務めた。

# Chorus

## 黒部で第九を歌う会合唱団

### Soprano【ソプラノ】

魚津 昭子	魚谷 洋子	大田ゆか子	小熊 房江	河合 弘子
川尻久美子	小島 好子	小森みどり	島 加代子	千先まさ枝
西尾 貴子	晴被 富子	村田美紀子	村椿 尚美	山本 賢美
吉見 靖子				

### Alto【アルト】

青木 昭子	朝野 淳子	奥村 祐子	亀田 良子	岸上七百子
木野本靖子	小林 聖子	鮫澤由加利	島瀬 節子	鷹田由美子
立野 富子	花岡 光子	舟川 敦子	堀川寿美恵	松村美智代
湊屋真津代	村椿 律子	森内 正巳	余西 典子	

### Tenor【テノール】

石川 幹夫	伊東 景治	植木 真人	上田 洋一	鷹田 利治
八川 進	広田 克美	福島 光繁	松倉 正機	宮崎 昌訓

### Bass【バス】

大森 崇督	鍛冶 哲郎	川本 敏和	島倉 敏夫	長田 行正
藤井 実	湊 千洋	米田 幹雄		

### 【合唱指揮】

内山 太一

日本の年末風物詩と言われるベートーヴェン交響曲第9番のコンサートを黒部でやろうという同志が集まって「黒部で第九を歌う会」が発足したのは1992年（平成4年）6月でした。その翌年初回第九（第4楽章のみ）を開き、以来昨年まで22年間に12回実行しました。2003年には米国メーコン市（黒部市の姉妹都市）へ演奏旅行し交流を深めました。いまでは黒部の第九は富山県内で富山市に並び定期的なコンサートに定着し、最近では県内各地で第九が歌われる機会が増えて来ました。

「黒部で第九を歌う会合唱団」は第九コンサートを開催するたびに黒部市と周辺市町の合唱愛好者を募り結成されます。団員の多くはそれぞれ市内の合唱サークルに所属しています。第九を歌う人数は毎回およそ110人から130人ほどです。

昨年4月第12回第九を北陸新幹線開業記念として根室市の皆様を迎えて開き、北国讃歌と第九をそれぞれが歌って姉妹都市交流の輪を広げることができました。それが縁となって今回の両市姉妹都市40周年の記念コンサートとして両市民が合同で北国讃歌と第九を歌い上げることになりました。姉妹都市交流に歴史的な1ページを開く有意義なことであり、第九を歌う会としてもこれ以上の喜びはありません。

「第九は人々に希望の光と勇気を与える音楽です。」「第九は世界平和と友情を祈念する崇高な精神性を持つ音楽です。」という言葉は私達は信じています。いま地球社会はさまざまな紛争と脅威にさらされています。このような時代にこそ「世界人類みな兄弟になろう」「Alle Menschen werden Brüder」と高らかに歌う第九の意義があるのだと思っています。

（黒部で第九を歌う会 会長 島倉敏夫）

# 根室市民合唱団

（根室ほほえみコーラス、根室混声合唱団クール・エコー、根室男声合唱団トルバドール、根室コール・スワン、北国讃歌を歌う会）

### Soprano【ソプラノ】

有海 育子	五十嵐貴子	五十嵐弘子	石川 広子	石黒 賛子
大久保和子	大目千枝子	小野ひろ子	樫見 政子	菊谷恵美子
木村 幸子	草野 七海	工藤 千華	慶野 洋子	鹿谷 利子
柴田 俊子	清水世津子	菅原 幸子	高岩登美子	田鎖琉璃子
竹内 幸子	田村 恭子	辻 あゆみ	十河さよ子	時任 濱子
富山 末子	成田 文子	西田美智子	羽澤 薫	長谷川千鶴子
濱崎智恵子	原田 純子	宝力 潤子	水野美年子	谷内田きよ子
山本みゆき	横井真理香	吉田小枝子		

### Alto【アルト】

石垣千重子	伊集 栄子	岩瀬 圭子	宇井三喜子	上野キヨ子
大隅 照美	大塚まり子	小形 和子	金子 弘子	河田マサ子
北川麻衣子	北村 亨子	桐澤 藍根	工藤セツ子	高岡貴美子
後藤 幸子	近藤 紀子	近藤 秀	斎藤ユキ子	新浜 豊子
鈴木 結子	高橋かおり	瀧本恵美子	竹田 恵子	鶴木 幸子
所 貞子	野田 恵子	能登美恵子	福本 育子	細谷 孝子
松谷 桂子	山本 スエ			

### Tenor【テノール】

岩本 忠三橋 誠	小笠原規雄	高橋 隆一	田村 昌也	富樫 亮介
----------	-------	-------	-------	-------

### Bass【バス】

池本 昇	大山 紀伯	木村 孝行	鈴木 一彦	高橋 佳伸
野田 敏	藤井 康雄	本田 俊治	横井 光	

### 【合唱指揮】

谷内田 きよ子



# Symphony Orchestra

## 釧路交響楽団



1st Violin	東 大樹 吉田 裕起*	庄司しのぶ 吉村 圭三	浜村 寿樹	深津 恵太	馬原 澄俊
2nd Violin	浅井 桃代	工藤 静子	直江はるみ	武藤 典子	藤谷美麻子
Viola	小田島武雄 滝澤 真毅*	菅野 紘大 池本 優真*	中村 拓郎 成田明日香*	石原 久美*	菅井 琢哉*
Cello	井上 雅子 毛利 巨塵◆	駒場 直純 桜井 敬一	堀 陽子	足立侑柚奈	吉野 智生
Contrabass	大西 隆臣	三浦亜紀子	中谷 怜未*	前田 綾音*	
Flute	加藤ゆき恵	斉藤 仁美	戸谷 夕子		
Oboe	池田 盛一	宮崎 優子*			
Fagotto	星野 匠*	佐藤 奈緒*			
Contrafagotto	宮脇るみ子				
Clarinet	森 幸子	山本 祐一			
Trumpet	蜂谷 晶子	森 孝博	伊藤 範秋*		
Horn	瀬戸 厚志	高橋 晃	瀬尾 武嗣*	神谷 佑奈*	
Trombone	嵯峨 彰人	小林 理江*	佐藤 晃晴		
Percussion	鈴木 未央				

◆音楽監督  
\*エキストラ

# 根室市民交響楽団



## 【ストリングス、ピチカート、ジュニア・アンサンブルねむろ】

1st Violin	熊谷 恵介 佐藤 史希	今井 悟 森崎 沙絵	島谷 貴子 北村 龍也	藤原 祐美 小林 正之	川上みゆき
2nd Violin	岩崎 園子 安藤 悠乃	笹木 悦子	山本みゆき	神 可南	能登 明美
Viola	魚谷久美子	丸山 るり	池本 優真*	成田明日香*	
Cello	児玉 歩	福嶋 尚			
Contrabass	丸山 一之	中谷 怜未*	前田 綾音*		

## 【根室市民吹奏楽団】

Flute	下岡 郁美	武川 正子		
Fagotto	星野 匠	佐藤 奈緒*		
Clarinet	高澤亜由美	望月 理沙		
Trumpet	須貝雄太郎	宮下 侑菜		
Horn	宮田 真司	入澤 美里		
Trombone	本田 俊治	村島 智久	小林 理江	
Tuba	高松 桃世			
Percussion	井平 雄司	平瀬 卓也	佐藤つばさ	根塚 一哉

\*エキストラ

## 黒部市のいま

**【沿革】** 旧黒部市は、昭和15年に三日市町、石田村、田家村、村椿村、大布施村、前沢村、荻生村、若栗村の1町7村が合併し桜井町となり、昭和28年に東布施村を編入し、翌年4月に桜井町と生地町が合併し誕生した。一方宇奈月町は昭和15年に浦山村と下立村が合併し、東山村となり、昭和29年7月に内山村、愛本村、東山村が合併し誕生した。平成18年3月31日に、旧黒部市と宇奈月町が合併し、現在の「黒部市」が誕生した。



**【面積】** 427.93km<sup>2</sup>で、富山県全体の10%を占める。

**【気象】** 年間平均気温が平野部で14℃、年間降水量は山岳部では4,000mm以上と、我が国屈指の多雨多雪地帯であり、平野部でも2,500～3,000mmの年間降水量となっている。

**【人口】** 平成28年7月末現在の人口は41,870人

**【観光】** トロッコ電車に秘境黒部峡谷や美肌の湯宇奈月温泉、「名水百選」黒部川扇状地湧水群、神秘的富山湾など山・川・海の恵まれた自然環境が豊富に存在する。平成27年3月に悲願の北陸新幹線が開業。日本一長い駅名「黒部宇奈月温泉駅」が設置され、東京—黒部を約2時間20分で結ぶ。昭和初期の電源開発の息吹を感じながら黒部峡谷の眺望を楽しめる「黒部峡谷パノラマ展望ツアー」や、日本有数の急流・黒部川ならではのスリル満点のリバーアドベンチャー「ラフティング」「キャニオニング」は人気の観光メニュー。

**【産業】** ファスナーやアルミ建材、工業用製品、ホースなどの製造業が盛んであり、その企業数は14社となっている。産業別の人口については、第1次産業従事者は減少を続け、高齢化の進行が顕著である。国や県と比べ第2次産業の従業者数の割合が高く、その中でも製造業従事者数が突出している。

**【特産品】** 生姜糖、かまぼこ、ますの寿司、黒部名水ポーク、黒部丸いも、日本酒（幻の滝、銀盤）、宇奈月ビール、水だんご、黒部米



黒部峡谷

### 【イベント（年間行事）】

- 4月 明日の稚児舞
- 5月 くらべ牧場ファーム・フェア、カーター記念名水マラソン
- 6月 愛本姫社まつり、じんじんまつり
- 7月 くらべ生地海上花火大会、生地ゑびす祭り、中陣地区のニブ流し
- 8月 尾山の七夕流し、黒部峡谷花火饗宴、アクアパークフェスティバル
- 9月 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月
- 10月 愛本新用水天満宮松明祭り、生地たいまつ祭り
- 2月 宇奈月温泉雪上花火

### 映画「カノン」2016年10月1日全国公開！

黒部市をメインに撮影が行われた映画「カノン」がこの秋公開！富山—金沢—東京を舞台に繰り広げられる母と三姉妹、家族再生の物語。

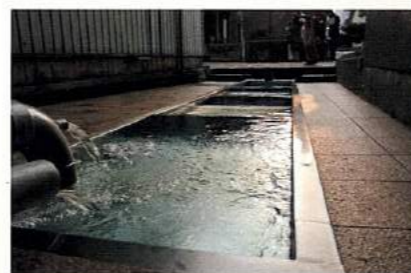
主 演：比嘉愛未、ミムラ、佐々木希、鈴木保奈美



ゑびす祭り会場パレード



回旋橋



清水庵の清水

## 根室市のいま

**【沿革】** 市名「根室」はアイヌ語「ニムオロ（樹木の繁茂する所の意）」から転化したものと言われている。明治2年開拓使庁根室出張所を設置。同13年根室戸長役場を設置。同33年7月一級町村制施行、町名を「根室町」とした。昭和32年8月根室町と和田村を併合し、根室市を設置。同34年4月歯舞村を合併。同38年浜中村の一部を編入。

**【面積】** 506.25km<sup>2</sup>

**【気象】** 春から夏にかけて海霧が発生し、夏は涼しく海岸部では「夏がない」とも言われる。秋から冬にかけて晴天が続く、降雪量は北海道の中では山沿いを除き一般的に少ない。都市化の影響が少ない地点として、日本の平均気温の算出地点の一つに使われている。

**【人口】** 平成28年7月末現在の人口は27,213人。昭和50年国勢調査の45,817人をピークに、減少傾向が続いている。



**【観光】** 北方領土を望む納沙布岬、野鳥の宝庫である春国岱や風蓮湖をはじめとした貴重な自然、国指定史跡である西月ヶ岡遺跡や日本100名城に指定された根室半島チャン跡群等の文化遺産、サンマ、花咲ガニ、昆布等の新鮮な水産物といった地域資源が豊富に存在する。

**【産業】** 根室は水産や流通の拠点として長い歴史を刻んできており、国内のサンマ漁の主要な水揚げ港として、漁業界では重要な位置を誇り、経済の活性化・産業振興の観点から官民が提携し、ベトナムをはじめアジア圏へのサンマの輸出に取り組んでいる。乳牛の飼育に適した冷涼な気候条件の中で、豊富な草資源を生かした草地型酪農経営に取り組んでいる。

**【特産品】** 地酒「北の勝」、エスカロップ、オリエンタルライス、花咲ガニ、オランダせんべい、てっぽう汁、根室さんまロール寿司

### 【イベント（年間行事）】

- 7月 ねむろ港まつり
- 8月 金刀比羅神社例大祭、北方領土ノサップ岬マラソン大会
- 9月 根室カニ祭り、北方領土まで歩こう会、根室さんま祭り
- 10月 根室産業フェスティバル
- 1月 納沙布岬初日詣
- 2月 ニムオロ冬の祭典、ねむろバードランドフェスティバル



納沙布岬初日詣



ねむろ港まつり



春国岱



金刀比羅神社例大祭

## Program Note

### 交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」

作曲：ベートーヴェン

ベートーヴェン最後の交響曲は、ロンドンのフィルハーモニー協会から新曲の依頼を受けて1822年10月から書き始められ、1824年にはほぼ完成していた。並行して作曲された第7番、第8番から10年後のことである。当時としては類を見ない長さで、声楽を伴うという異例の曲であった。第4楽章の歌詞となるシラーの詩をベートーヴェンが知ったのは1792年、彼が22歳の頃である。実に構想30年となる。

さて、完成したこの交響曲は1824年5月7日にウィーンのケルトナートーア劇場（現在のウィーン国立歌劇場の前身）で初演された。耳の聞こえないベートーヴェンが舞台上で総指揮をしたものの、実際の指揮は楽長のウムフラウが担当した。終演後、嵐のような喝采が起こったがベートーヴェンは気付かない。アルト歌手のウンガーが客席の方に向け、ようやくその大成功に気づいたという有名なエピソードが残されている。

彼の死後、メンデルスゾーンやベルリオーズ、リスト、ワーグナー、マーラーらの大作曲家が、トスカニーニ、フルトヴェングラー、ワルター、カラヤン、バーンスタインらの大指揮者がこの曲の伝道師として、この曲に確固たる地位を与えていった。そして今では、この曲はいろいろな機会に演奏されている。日本のように大晦日に演奏される場合もあれば、新年に演奏される国もある。祝祭の曲（パイロイト音楽祭の再開記念やベルリンフィルハーモニーの新しいホールの落成記念で演奏された）として演奏されたり、鎮魂の曲（東日本大震災のチャリティコンサートで演奏された）として演奏されたりもする。このような懐の深さをもつ曲は他に存在しないのではないだろうか。

2001年9月4日、ベルリン国立図書館が所蔵する、かつてプロイセン国王に献呈された「第九」の楽譜が、ユネスコの世界遺産の「世界の記録」部門に指定された。かくして「第九」は文字通り人類の遺産になったのである。

曲は4つの楽章からなるが、本日は最終第4楽章のみ演奏する。

#### 第4楽章 プレスト

不協和音からなる導入部に続く低弦のレチタティーボが前の3つの楽章の主題を否定して歓喜の主題を導く。曲が盛り上がったところで再び導入の不協和音が登場して、バリトンのソロが「おお、友よ、この調べではない！」と切り出す。この部分の詞は、ベートーヴェン本人によって書かれた。以降、「歓びよ、美しき神々の輝きよ、楽園の娘よ！」とシラーの詩を合唱とともに歌いあげていく。いったん静まったあと、行進曲となり、今度はテナーのソロがリードする。その後「抱きあおう、もろびとよ」と厳かな合唱部分を経て、最大のクライマックスである二重フーガが出現する。コーダは速度をあげ、プレスティッシモで結ばれる。

### 交響曲第9番より An die Freude「歓喜の歌」(原詩：F. シラー) 訳詞

**O Freunde, nicht diese Töne!**

**Sondern laßt uns angenehmere anstimmen, und freudenvollere.**

おお友よ、この調べではない!

もっと心地よい、もっと喜びに満ち溢れた調べを歌いはじめよう。

(ベートーヴェン自作)

**Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium!**

**Wir betreten feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum!**

歓喜よ、神々の麗しき靈感よ、天上の楽園の乙女よ!

我々は火のように酔いしれて崇高な汝(歓喜)の聖所に入る。

**Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt,**

**alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.**

時流が強く切り離れたものを、汝が魔力は再び結び合わせる。

汝の柔らかな翼が留まる所で、すべての人々は兄弟となる。

**Wem der große Wurf gelungen, eines Freundes Freund zu sein,**

**Wer ein holdes Weib errungen, mische seinen Jubel ein!**

大きな成功を勝ち取った者に、真の友があらわれる。

心優しき妻を得た者は、彼の歓声に声を合わせよ。

**Ja, wer auch nur eine Seele sein nennt auf dem Erdenrund!**

**Und wer's nie gekonnt, der stehle weinend sich aus diesem Bund!**

そうだ、地上にただ一人だけでも、心を分かち合う魂があると言える者も歓呼せよ。

そしてそれがどうしてもできなかった者は、この輪から泣く泣く立ち去るがよい。

**Freude trinken alle Wesen an den Brüsten der Natur,**

**Alle Guten, alle Bösen folgen ihrer Rosenspur,**

すべての存在は、自然の乳房から歓喜を飲み、

すべての善人もすべての悪人も薔薇の路をたどる。

**Küsse gab sie uns und Reben, einen Freund, geprüft im Tod,**

**Wollust ward dem Wurm gegeben, und der Cherub steht vor Gott.**

自然は口づけと葡萄酒と死の試練を受けた友を与えてくれた。

快樂は虫けらのような者にも与えられ、智天使ケルビムは神の前に立つ。

**Froh, wie seine Sonnen fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,**

**laufet, Brüder, eure Bahn, freudig, wie ein Held zum Siegen!**

神の壮麗な計画により、太陽が喜ばしく天空を駆け巡るように。

兄弟よ、自らの道を進め。英雄のように喜ばしく勝利を目指せ。

**Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!**

**Brüder! über'm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.**

抱き合おう、もろびとよ! この口づけを全世界に!

兄弟よ、この星空の上に 愛する父がおられるのだ

**Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt?**

**Such' ihn über'm Sternenzelt! Über Sternen muß er wohnen.**

ひざまづくか、諸人よ? 創造主を感じるか、世界よ。

星空の上に神を求めよ! 星の彼方に必ず神は住みたまう

## Program Note

### 交響組曲「北国讃歌」

作詞：田塚源太郎、飯田 三郎 作曲：飯田 三郎

1968年の「根室市開基100年」にあたり、郷土出身の作曲家・飯田三郎と、同じく郷土の詩人・田塚源太郎によりつくられた交響組曲。初演以来、根室市文化祭音楽大会などを中心に毎年のように演奏され、いまや「北国讃歌」は、“根室の第九”といわれるように、根室市民の心のうたとなっている。

「北国讃歌」は5つの楽章から成り立っており、それぞれが根室の四季を表している。

#### 第1楽章「序曲」

冒頭に北国の哀愁と、自然に対する人々の強い意志のテーマが金管で力強く演奏される。さらにそのメロディーがカノンとなって演奏されて、急激な半音に転調され、合唱が入る。ファンファーレ風な中にテーマの変形がついており、合唱で強い意志を主張するかのようなテーマの断片をくり返して、次第に高潮したムードになる。暗い感じのメロディーが前述の不安を表現するかのように演奏されるが、北国の人々の何物にも屈しない力と、哀愁を帯びたメロディーが合唱によって盛り上げられて終わる。

#### 第2楽章「集い」

明るく楽しい楽章で、男性のエンヤサエンヤサをバックに、ヤン衆や女工さんたちの躍動的な情景を歌った、ロシアのコサックダンスにも似た、リズムカルな調子の楽章である。

#### 第3楽章「霧に寄せるハミング」

根室地方独特の、潮の香りを伴って流れてくる霧を歌った、ハミングを主体としたロマンス風の楽章である。

#### 第4楽章「テシロップ」

冬の凍りつく感じの、半音階のメロディーを合唱のハミングで導入部として、すぐ6分の8拍子の速いテンポの合唱となり、「テシロップ」のくり返しをバックにソプラノとテナーが「しばれる」というだけの歌詞で歌う。中間部に静かな感じで「つららが泣いたよ」という歌詞によるメロディーが、女声合唱でかわいらしく長調で歌われ、ふたたび最初の速いテンポに戻ってコーダに入る。

#### 第5楽章「讃歌」

全合奏による力強い感じが次第に落ち着いてきて、前奏風に讃歌のメロディーを演奏する。そして、テノールの独唱となる。「七つ星きらめく空に 高らかにかがり火あげよ 潮鳴りの絶えぬ渚に 鍛えたる声もとりて ふるさとの歌を」高潮したテノールの独唱が終わると、混声合唱で多音的に同じメロディーが演奏される。金管楽器が再び第1楽章の「序曲」のテーマを、やはり多音的に混声合唱と演奏し、次第に讃歌のムードを強調して、人々の試練に耐える自信と郷土愛を高らかに歌って全楽章を終わる。

### 合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」より『越中おわら』

作詞・作曲：岩河 三郎

『越中おわら』は、富山県富山市生まれの作曲家・岩河三郎（いわかわさぶろう／1923-2013）が作詞作曲した。富山県民謡の歌詞や囃子言葉・言い回しなどが取り入れられている。合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」の一曲で、『越中おわら』（おわら節）のほか、『こきりこ』（こきりこ節）、『むぎや』（麦屋節）の合計三つの富山県民謡を題材とした合唱曲からなる。

『越中おわら』の歌詞にある「八尾の風の盆」とは、富山県富山市の八尾（やつお）地域で毎年9月に開催される盆踊りを指している。八尾の風の盆では、富山県民謡「越中おわら節」が歌われ、「歌われよ、わしゃ囃す（はやす）」というフレーズも同民謡の冒頭で実際に歌われる歌詞の一つとなっている。ちなみに同フレーズは、「わたしが楽器を演奏するから、あなたは歌ってください」という意味。

合唱曲の歌詞にある「越中で立山 加賀では白山 駿河の富士山 三国一だよ」は、富山県民謡「越中おわら節」でもよく歌われる歌詞の一つで、これ以外にも同民謡には様々な歌詞がつけられている。

### 千 島 望 郷

作詞：武田 文春 作曲：飯田 三郎

昭和49年、当時根室市教育長だった武田文春が作詞し、「ここに幸あり」で知られる根室出身の飯田三郎が作曲、同年の秋の根室市文化祭で発表された。曲の旋律の中から、島を恋う人々の心情と、北洋の流氷群や岬に咲く花、望郷の島々にかかる一片の白雲などの情景がまぶたに浮かぶ。根室の代表的な望郷の歌の一つである。

なお、この曲の初演で独唱したのが、本日の指揮者の谷内田きよ子である。

### 銀 河 鉄 道 の 夜

作詞・作曲：さだまさし 合唱編曲：田中 達也

2014年2月に公開された、「北方領土」色丹島を舞台にしたアニメ映画「ジョバンニの島」のエンディングテーマ曲。さだまさしの作詞・作曲。

映画は、自然豊かな色丹島で父や祖父と楽しく暮らす兄弟を中心に、敗戦、突然のソ連軍の占拠、それでも心を通わせる両国の子どもたち、樺太への強制連行など、実話をもとにした感動の物語である。

曲は、兄弟が愛読した宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」と賢治が作詞・作曲した「星めぐりのうた」をモチーフに、映画で表現されている島の風景、人々の心情などが歌われている。根室初演。